

市民「健康講演会」を開催



関心の高いテーマに耳を傾ける参加者

今年度2回目の市民向け健康講演会は、10月8日(木)午後6時から胆沢病院「玄関ホール」において行われました。「がんの療養と緩和ケア」と題して行われたこの講演会に、あいにくの暴風にも関わらず、患者さんや地域から約60人の

参加がありました。講師は、当院の郷右近副院長(兼乳癌外科長兼病理科長)が務め、はじめに「がん治療の概略」について、がんに関する芸能人の最近の話題を織り交ぜながら、がん検診や治療方法について話がありました。

また、緩和医療については、「緩和ケアは、病気の時期や治療の場所を問わずに提供され、苦痛(つらさ)に焦点があてられる必要がある」と、「つらさとともに病気に伴う患者さんの生活の変化や気がかりに対応することも大切であること」など、分かりやすく話がありました。

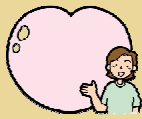
基本的な緩和ケアは、がんを診療するすべての医療従事者が提供するものです。苦痛が取りきれず、症状緩和が困難な患者さんは専門的緩和ケアに紹介することになります。緩和ケアチームは、緩和ケア病棟の医師をはじめとするスタッフ、在宅で専門的な緩和ケアを提供する診療所、がん看護、緩和ケアに関連する専門・認定看護師などで構成されます。いつでもどこでも、切れ目のない質の高い緩和ケアを受けられることがとても大切となっています。

最後に「当院は、チームで対応できる体制を作っており、気軽に声を掛けてほしい」と郷右近講師が結んでいます。



めったに見られないスーツ姿の郷右近講師

今年も希望者多数でした 血管年齢検査



健康講演会の開催前に「血管年齢検査」が行われました。

「血管年齢検査」は、両手足の血圧を測定することによって、手足の血圧の差や、脈の伝わる速度を算出して、動脈硬化の程度(血管年齢)や血管の詰まりの具合などを調べるもので、今回は簡易検査で行われました。



希望者多数の受付風景

今年は、抽選となった昨年の倍の20人枠としましたが、希望者数が超過したため急遽、検査科スタッフに調整をお願いしました。結果、なんとか希望者全員が測定でき、ホッとしました。

関心の高い がんの療養と緩和ケア

風と心

岩手県立胆沢病院
編集 広報委員会

〒023-0864
岩手県奥州市
水沢区字龍馬場61
TEL 0197-24-4121
FAX 0197-24-8194



緩和ケアの定義 (WHO 2002)

緩和ケアとは、生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者さんや家族の痛み、その他の身体的、心理的・社会的な問題、スピリチュアルな問題を早期に発見し適切に評価し対応することを通して、苦痛を予防し緩和することにより、患者・家族のQOL(生活の質)を改善する取り組みです。

職場体験学習

■ 奥州市立水沢南中学校 ■

9月29日～30日、医療の仕事に携わりたいと希望する中学生の職場体験学習が、胆沢病院において行われ、奥州市立水沢南中学校の生徒4名（看護師希望2名、リハビリ希望2名）が参加しました。

この職場体験学習は、授業の一環として、①社会での職業体験を通して勤労の意欲や働く人々の思いを理解する。②自分にふさわしい職業や仕事への関心・意欲を高める。③他者に配慮しながら、積極的に人間関係を築こうとする態度を育てる、ことを目的に行われたものです。

1日目は、はじめに総看護師長の歓迎あいさつ、医療職種の充実状況と岩手県立病院の現状について説明を行った後、当院の院内感染対策、医療安全対策について担当看護師から研修を受けました。そのほか栄養管理室、診療放射線科、臨床検査科、薬剤科を見学しました。



足浴から体験しました

2日目の看護科実習では、病棟で患者さんの手浴・足浴を緊張の面持ちで体験し、午後にリハビリテーション科の実習となりました。その後、CE（臨床工学技士）による医療機器の管理部門、手術室を見学しました。



医療器械ってたくさんあるネ！

手術室では、導入されたばかりの手術支援ロボット「ダビンチ」



新鮮な体験に笑顔での記念撮影。総看護師長（前列中央）とスタッフ（後列）。

の操作を行うなど、最先端医療機器の一端に触れることができました。



手術支援ロボット「ダビンチ」を操作しました

職場体験終了後には、「普段は出来ない体験だった」「手洗いのときに患者さんが、話し掛けてくれて、とても嬉しかった」などの新鮮な体験の感想が話されました。

そのほか、生徒からは、「どうしてこの仕事に就こうと思ったのか。働いてやりがいを感じる時はどんな時か」などの事前質問が寄せられ、看護師からは、「誰かのためになる仕事がしたかった。患者・家族に「ありがとう」と言われたとき嬉しいし、また頑張ろうと思える」など、仕事を通じての経験が伝えられています。

体験学習を受け入れた病棟からは、こんなコメントが寄せられています。

「手浴を行ってもらった患者さんが、何度も学生さんに「ありがとう」と笑顔で話していた。自分の孫の世代の学生さんが、来棟したことで、いつもより笑顔が増え、リハビリにも意欲的に取り組んでいます」と。

医療情報コーナーイベントの開催案内

開催日	内容（テーマ）	担当スタッフ	開催形態
11月24日（火） 9:00～12:00	運動のポイント 自宅でする体操・筋トレの紹介と実際	リハビリ	プチ勉強会
12月22日（火） 9:00～12:00	タオル帽子をつくろう ウィッグ展示会	岩手県入りの会、胆沢病院ボランティア会ほか	実演、展示

・会場：玄関ホール「医療情報コーナー」 ・申込み：不要 ・費用：無料